釧路湿原国立公園　温根内ビジターセンター

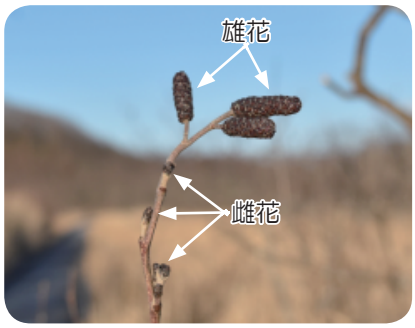
月刊温根内（おんねない）通信

2021年12月号　№.303　　12月15日（水）発行

オオハクチョウ 冬の到来告げるも

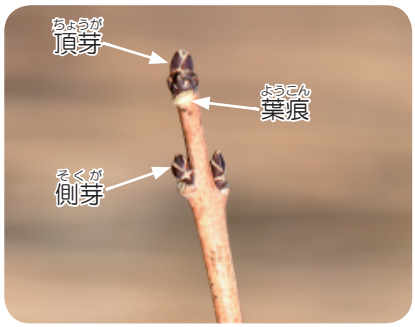
オオハクチョウの群れが、見事なＶ字の隊列で頭上を通り過ぎていきました。そして、この確認からオオハクチョウは温根内ではほぼ見られなくなり、おおむねは南へと旅立って行ったようです。
鳥たちが冬の訪れを告げてくれるものの、道東地域には妙に暖かく、まとまった雪も一向に降りません。
「今年の冬はどうなるかな…」
年の瀬の口ぐせのようになっています。

☆☆☆　温根内木道周辺で見られた自然（11/15～12/14）　☆☆☆



【ハンノキ（冬芽）】
カバノキ科　榛の木
ハンノキは早くも来春を見越して冬芽をつけています。冬の木道沿いのおなじみの観察対象です。

【オオバタネツケバナ(ロゼット)】
アブラナ科　大葉種漬花
水面からロゼット葉を広げ、この状態で冬を越します。雪が積もればこれも見えなくなります。



【マユミ（冬芽）】
ニシキギ科　真弓
樹木によって異なる色々な冬芽が観察できます。本種は側芽が対になる（対生）のが特徴のひとつ。

【カケス】　漂鳥
カラス科　懸巣
木の根元で餌を探していました。秋～春にかけて見られます。北海道のカケスは亜種ミヤマカケス。

【ツグミ】　冬鳥
ヒタキ科　鶫
ツルウメモドキの実などを食べ、VC 周辺でも見られます。鳴声は「キーキー」「クゥ、クゥ」など。

もうすぐ見られるかも！

【フロストフラワー】凍った水面に氷の花のような形が現れます。

○表紙の写真 上：オオハクチョウ　下：早朝の木道

○温根内木道周辺で確認された鳥 一覧表（11/15～12/14）

道東地方はゆっくりとではありますが、徐々に冬本番を迎えようとしています。温根内周辺では確認できる種数はやや少なくなりましたが、木々の葉がなく好天の日が多いこれから時期はバードウォッチングには適しています。オオワシ・オジロワシといった大型の猛禽類を見る機会はこれからも増えていくでしょう。カラ類などの留鳥も賑やかで、よく観察できています。

鳥（和名は日本鳥類目録第７版の順）							
1	オオハクチョウ	6	ノスリ	12	ハシボソガラス	18	ゴジュウカラ
2	タンチョウ	7	コゲラ	13	ハシブトガラス	19	キバシリ
3	トビ	8	オオアカゲラ	14	ハシブトガラ	20	ミソサザイ
4	オジロワシ	9	アカゲラ	15	シジュウカラ	21	ツグミ
5	オオワシ	10	クマゲラ	16	ヒヨドリ	22	セグロセキレイ
		11	カケス	17	エナガ	23	カワラヒワ

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆　自然ふれあい行事が開催されました　☆☆☆☆

○「クリスマスリースを作ろう」11 月 28 日　参加者：10 名　講師：甲斐美弥子（リース創作研究家）

クリスマスが近づくこの日、自分だけのオリジナルのリースを作る、恒例の行事を開催しました。はじめに講師をお願いした甲斐氏からは、自身が納得いく作品をとにかく作りましょう、とのスタンスで始めていただきました。まず、各自で土台となるつたを選び、その上に自由な発想で装飾を施していきました。飾りつけのバランスやリボンのかけ方など、大事なポイントで甲斐氏から助言していただき、初心者でも安心して制作していくことができました。最後には、自然の素材を全面に用いたシックな装いの作品から眩しいほどのきらびやかな作品まで、それぞれの思いの詰まったリースが完成し、参加者らは大満足の笑顔でイベントは終了しました。皆様、楽しいクリスマスを！

○「湿原の『かたち』を見て歩こう」12 月５日　参加者：11 名　講師：藤原伸也（VC）

木の葉が枯れ落ち、遠くまで見渡せるようになるこの時期は、湿原の地形や樹木のかたちを観察するのに絶好の季節。そんな「かたち」に注目して散策するイベントを、ビジターセンター職員の藤原が講師を務めて行いました。まずは釧路湿原ではおなじみのヤチボウズ。このかたちを植物が作っていることを知らなかった参加者はとても驚いていました。続いて新釧路川の右岸堤防上に出ると、快晴のこの日は湿原周辺の地形がぐるりと見渡すことができました。西側には段丘地形、そして北側には冠雪した阿寒の山々。長い時間をかけて作られたこれらの大地形に、解説を聞きながら参加者は思いを馳せてくれていたようでした。そのほかにも、樹形で樹種を見分けるのに挑戦したり、昔の空中写真と今の風景を見比べて湿原の移り変わりを実感してもらうなど、盛りだくさんの散策会となりました。

☆☆☆☆　昭和小学校さんへ出前授業に行ってきました！　☆☆☆☆

12月10日、釧路市立昭和小学校さんからのご依頼で、4年生の児童に対して出前授業を行ってきました。1時限分を丸々使い、「釧路湿原で今起こっていること」と題して、職員が小学校の体育館で講演を行いました。今回は特に外来生物の侵入についてお話しし、途中にクイズを挟んだりしながら楽しく講演をしてきました。最後に児童からは、「釧路湿原は地球温暖化の影響は受けているの？」とか「釧路湿原はいつかなくなってしまうの？」といった大人もうなるような切実な質問が飛び出し、さすが地元の小学校さんは湿原の将来について色々と考えているのだなと、こちらの方が感心してしまいました。また、賑やかな小学校の校内にお邪魔し、私も子どもの頃にタイムスリップしたような気分になりました！（ビジターセンター指導員　藤原伸也）

☆☆☆☆　大掃除！今年一年のホコリをきれいに　☆☆☆☆

12月11日、釧路湿原国立公園パークボランティアの方々が館内の大掃除をしてくださいました。普段はあまり触れない展示の中身や軒下のクモの巣まで、隅々まできれいにしていただきました。これでよい新年を迎えられそうです！パークボランティアの皆様、今年もありがとうございました！

☆☆☆☆　イベントのご案内（1月）事前の申し込みが必要です　☆☆☆☆

新型コロナウィルスの感染状況により行事自体が中止になる可能性があります。事前に各施設へご確認ください。

○温根内ビジターセンター　⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪湿原アニマルトラッキング

〔日時〕1月16日（日）10：00～12：00
〔定員〕　10名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕無料
〔場所〕温根内ビジターセンター
雪の上の足跡や、あちこちに残る痕跡から、
湿原周辺の動物の行動と暮らしについて考えます。

↑
昨年の様子 →

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

♪連凧を作って揚げよう

〔日時〕1月8日（土）10：00～12：00　〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕100円（材料費）　〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～今年もお世話になりました～

今年は皆さんにとってどんな1年でしたでしょうか。当ビジターセンターは下記の期間、年末年始休館とさせていただきます。
どうぞよいお年をお迎えください。

＜年末年始休館日＞
2021年12月29日（水）～
2022年1月3日（月）
（新年の開館は1月5日（水）から）

月刊　温根内通信　№.303
発行：釧路湿原国立公園　温根内ビジターセンター
〒085-1145　北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel：0154-65-2323　Fax：0154-65-2185
E-mail：ovc@hokkai.or.jp
ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/
Facebook：温根内ビジターセンター　フェイスブック
開館時間：9:00～16:00（4月～10月は17:00まで）
休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）　入館無料